

## 精神鑑定

札幌 古屋 統

白晝の無差別殺傷鑑定の責を負わされる医師も被害者  
弁護士のパフォーマンス鑑定で被告の刑を軽くして見せる  
前例なき猟奇事件が相次ぎて精神鑑定医が振廻される  
複数の鑑定医微妙に食い違う宮崎勤事件その他もろもろ  
師の対う鑑定事例に助手われら思い知らされし人の裏の裏

## 冬の通勤

美唄 吉村 誠治

凍る朝下りホームに我一人電車待つ身に雪降りかかる  
冬となり五分で間に合ふ駅なるに妻は車で送りてくるる  
吹雪なる美唄駅を発ちしかど滝川の空は陽ざし明るし  
この冬は気候変動大きくて重ねる下着に今朝も迷へり  
八十路すぐ冬の通勤案じたる妻の求めし下着は厚し

## サワフタギ

札幌 浜島 泉

紅葉の森の彩りサワフタギ コバルト色の真珠と紛ふ  
繁る葉が湿雪負ひし後遺症倒木裂けし木撓み残す木  
出勤時驟雨到来バスに乗るみぞれに変はり窓ガラス打つ  
ロッカーのキー見出だしぬ空港の金属チェック通るに除けし  
回診を心待ちする老人の喜色に医師の使命を学ぶ

## 冬日

釧路 児玉 昌彦

いつかまた会えると信じ別れたる心ゆらげり時の経る間に  
書き終えた賀状をそつと別にしてやはり出すのは止めにしようと  
天皇も加齢と家庭さまざまな悩み持つ身と知りて思えば  
来し方を振り返るのはこの先も歩き続けるための小休み  
雪積もりしばれる朝にフト思う網かけおりし蜘蛛いずこにと

# 北海道医歌人会詠草

## 浅き春

栗山 高田 剛太

都では桜の花の咲く頃やこの北国の雪は白きに  
まだ寒き朝に窓あけ空見れば淡く輝く春の色あり  
春風に嬰児の細き前髪も吹かれて揺れて眠りたもうや  
喜びも悲しみもあり三月に去りゆく人も見送る人も  
遠き日の別れも今や想い出のひとつとなりぬ春臘月

## インドの旅

旭川 稻積 文子

人間もバイクも車も交錯しそれなりに調和しているデリーの街並  
高速路を逆走して来る車ありたじろぎもしない熟練の運転  
華やかに色彩塗られし象タクシーアンベル城目ざして人乗せ歩く  
ヒンズーの教えを信ずる人多く物乞う子等のおだやかな顔貌  
誹謗し合う政治家の多き吾が国なれどインドの人より信頼厚し

## 鳥

江別 三宅 浩次

木枯らしに はぐれヒヨドリ一羽ゐて声甲高く友を呼ぶらし  
汚れなき雪の白さにレンジャクは赤い木の実の汚れ残して  
シベリアのH5N1を運び来る病みし白鳥ああ白鳥よ  
イライラにストラヴィンスキー「火の鳥」のオドロオドロを癒しとして聴く  
遙かなる宇宙へと飛ぶ「こうのとり」日本製なる精密さを見よ

## E2系

札幌 山口 康徳

E2系トップに飾り進みたり海をば望み函館目ざして  
歴史をば歪曲せんとふ悪しきあり己が心に傲慢住むや  
すぐる年猛暑となりしそのツケか今年の根雪足踏しをり  
トラ眠り兎は目ざめ平和来る地球をおほふ暗雲去るや  
慢心を押へわが技に専念せよや能ある鷹よ